

平成23年12月8日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

平成23年度 三部会合同部会

◆ 12月8日(木)、美しい多摩川フォーラムの平成23年度 三部会合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成23年12月8日(木) 15時～17時
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F サンマルコ
- ・出席者：部会長、副部会長、運営委員、アドバイザー、会員等

◎ 三部会合同部会の概要

1. 開会

2. 部会長挨拶

3. 経過報告 ※はビデオ放映

- (1) 第4回美しい多摩川フォトコンテストの募集を開始(10/1～12/31)【資料1】
- (2) たまりバー50キロ命名記念・RUN&WALK(10/8)【資料2】※
- (3) 第4回多摩川一斉水質調査・結果報告(11/1)【資料3】※
- (4) 第3回美しい多摩川クリーンキャンペーンの開催(11月)【資料4】※
- (5) 「多摩川の歌」CD発送【資料5】
- (6) 「平成23年度東北圏における官民連携主体による広域連携プロジェクト推進事業」に応募(12/6)【資料6】

～以下、当面の予定～

- (7) 「エコプロダクツ2011」においてフォーラムを紹介(12/15～17)【資料7】
- (8) 第4回多摩川子ども環境シンポジウムの開催(12/17)【資料8】

4. 意見交換

- (1) 平成24年度の事業計画について【資料9】
- (2) 「食と地域の交流促進対策事業」(農林水産省関東農政局交付金事業)について【資料10】
- (3) 「東北・夢の桜街道プラン」について【資料6】
- (4) その他

5. 部会長総括・閉会

1. 開会（初参加者紹介および資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成23年度三部会合同部会を始めさせていただきます。本日はじめて部会にご出席される方をご紹介します。

（青梅市 建設部 計画調整担当 主査 福島 悦重 様）

福島と申します。本来であれば、私の上司が出席すべきなのですが、議会月のため、代理で出席させていただきました。今後ともよろしくお願いいたします。

（大田区 調布まちなみ維持課 課長 伊藤 晴司郎 様）

伊藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。大田区は、一番南の多摩川河口部に位置しておりますが、区長は多摩川に関して非常に熱心に取り組んでおります。我々都市基盤整備部は、土木関係を担当していますが、川は非常に大きな要素ですので、基本的な活性化を目指して取り組んでおります。どうぞよろしくお願いいたします。

（近畿日本ツーリスト株式会社 首都圏西団体旅行支店 課長 馬場 真人 様）

馬場と申します。今年は総会に出席させていただき、色々なことを勉強させていただきましたが、この部会におきましても、新たなことを勉強できればと思い、出席させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

（クラブツーリズム株式会社 地域交流部 課長 高野 知厚 様）

高野と申します。私どもは旅行会社ですので、東北復興支援も含めて、「桜回廊」というコース、ツアーを策定し、お客様にお集まりいただき、それをもって日本の元気を届けることを支援として行動してまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（東急スポーツシステム株式会社 事業推進部 内田 圭 様）

内田と申します。我々の会社は、多摩川の河川敷で「東急ゴルフパークたまがわ」というショートコースを運営しておりますが、そのご紹介で本日出席させていただきました。私が以前所属していた部署で、研究会を立ち上げた際、細野部会長には顧問を務めていただいたというご縁があります。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。それでは、細野部会長からご挨拶をお願いいたします。

2. 部会長挨拶

(細野部会長)

お寒い中、ご苦労様です。本日も盛りだくさんですので、皆さんの忌憚のないご意見やアイデアを期待しております。日曜まで、フランスとベルギーに行っておりましたが、EUの金融危機があったせいか、いつもならイルミネーションが輝いているのに、今年は寂しい気がしました。予算が大幅に削られたそうです。日本にもかぶってこないように、ここが「元気な日本を作る」出発点になれば良いなと思います。

それでは、事務局より経過報告をお願いします。

3. 経過報告 (事務局)

はい、下期の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料にて時系列でお示ししております。それでは、はじめに(2)番、(3)番、(4)番をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。

(2) たまりパー50キロ命名記念・RUN&WALK (10/8)

(3) 第4回多摩川一斉水質調査・結果報告 (11/1)

(4) 第3回美しい多摩川クリーンキャンペーンの開催 (11月)

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

(3) 第4回多摩川一斉水質調査・結果報告 (11/1) 【資料3】

(事務局)

6月5日に実施した水質調査のレポートが、11月1日に出来上がりました。本来であれば、小倉副会長からご報告いただく予定でしたが、ご都合によりご欠席のため、水とみどり研究会の佐山様より、レポートの説明をお願いいたします。

(佐山様)

- ・ 全国水環境マップ実行委員会を実施しており、その一環で「多摩川一斉水質調査」を行っております。今年3月に発生した東日本大震災により、この一斉水質調査を実施すべきかどうか迷ったのですが、東北から参加申込みのあった団体にも1団体ずつ電話をかけ、実施するか否かをご判断いただきましたが、ほとんどの団体で実施していただきました。

- ・ そんな状況を踏まえ、6月5日に多摩川一斉水質調査が実施されましたが、美しい多摩川フォーラムさんでは、昨年の70地点を超え、今年は74地点を実施していただきました。他の団体や市民の皆さんが調査した地点を含め、トータルで394地点の調査を実施し、今日皆さんにお配りしている地図が出来上がりました。
- ・ 地図の見かたですが、青色がきれいな水質、黄色～赤色になると、水質が若干悪いことが視覚で確認できます。裏面のデータですが、今年は、2008年から4年間の多摩川の水質の傾向を一目で見られるように工夫しました。また、多摩川の本流・支流の代表的な地点をピックアップし、水質の変化が分かるグラフを掲載しました。
- ・ こういったデータを蓄積することにより、市民の皆さんが、自分たちが住んでいる地域の川がどういった水質であるかを把握でき、水環境に関心を持っていただけると思います。

(4) 第3回美しい多摩川クリーンキャンペーンの開催 (11月)【資料4】

(事務局)

こちらにつきまして、今年初めてこの活動に参加していただいた東急電鉄の小林様よりご報告をお願いいたします。

(小林様)

11月4日に、当社とグループ会社を集めた総勢20名ほどで、午前9時半から約1時間、堤防工事中で河川敷に入れなかったため、街の清掃活動を行いました。今後も、このような形で活動していきたいと思っています。

(5) 「多摩川の歌」CD発送【資料5】

(事務局)

【資料5】をご覧ください。11月下旬、多摩川流域公立小・中学校840先に「多摩川の歌」のCDを発送したところ、12月6日付の読売新聞朝刊に取り上げていただきました。早速、三鷹市立第五小学校、大田区立調布大塚小学校、川崎市立栗木台小学校から「楽譜が欲しい」との問合せがあり、希望部数を発送いたしました。こちらにつきまして、下重部会長のほうで補足がありましたらお願いします。

(下重部会長)

各学校への配布が終わり、来年がとても楽しみです。来年開催する多摩川子ども環境シンポジウムに、楽譜を送付させていただいた学校からエントリーしていただけると、なお嬉しいです。

**(6) 「平成23年度東北圏における官民連携主体による広域連携プロジェクト
推進事業」に応募 (12/6) 【資料6】**

(事務局)

【資料6】をご覧ください。この案件は、11月15日に国土交通省国土政策局より発表された、平成23年度・第三次補正予算に関する東北復興支援事業です。東北圏における官民連携主体による広域連携プロジェクトとして、1,000万円程度の事業を、23年度中に実施することが前提となっております。募集内容をみると、美しい多摩川フォーラムが推進している「東北・夢の桜街道プラン」にピッタリ当てはまり、また、応募締切が12月6日と時間がなかったこともあり、急遽、細野部会長と相談し、「東北・夢の桜街道プラン」を推進する内容を織り込んだ「東北・夢の桜街道推進協議会」を新たに設立し、5日に応募資料を提出したところです。なお、年内には、結果が通知される見込みです。

詳細については、意見交換でお話したいと存じます。

～以下、当面の予定～

(7) 「エコプロダクツ2011」においてフォーラムを紹介 (12/15～17) 【資料7】

(事務局)

【資料7】をご覧ください。フォーラム会員のカシオ計算機(株)様では、12月15日～17日に、東京ビッグサイトで開催される、国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ2011」に出展され、美しい多摩川フォーラムの活動についてご紹介をいただく予定です。

(8) 第4回多摩川子ども環境シンポジウムの開催 (12/17) 【資料8】

(事務局)

【資料8】をご覧ください。現在事務局のほうで準備を進めており、発表団体、関係者との調整もつきました。当初は11団体の予定でしたが、残念ながら2団体がキャンセルとなり、最終的に9団体となりました。そのうち1組は、高校生の特別出演となります。今回は、「多摩川の歌」について、1組目の東村山市立第二中学校の生徒が合唱を披露してくれます。今日ご出席いただいている東村山市立第二中学校教諭の箱崎先生から、現在の準備状況についてご説明をお願いいたします。

(箱崎様)

昨年度の美しい多摩川フォーラム総会において、「多摩川の歌」混声四部合唱初演の機会をいただき、有り難うございました。三多摩青年合唱団の一員としてお礼を申し上げます。それ以来、私はこの歌を大変気に入っておりまして、ちょう

ど私が東村山市立第二中学校合唱部の副顧問を担当している縁もあり、「第4回多摩川子ども環境シンポジウム」で子どもたちの合唱を披露させていただくこととなりました。

多摩川から少し離れた場所に住んでいる子どもたちに、多摩川のイメージを膨らませてもらえるよう、11月には及川事務局次長に学校までお越しいただき、ビデオとお話をしていただき、練習を開始しました。今から流すテープは、昨日の練習を録音したものです。お聞きください。(会場に、子どもたちによる「多摩川の歌」合唱が流れる)当日はもう少し上手いはずなのでご期待ください。

(事務局)

箱崎先生、有り難うございました。以上を持ちまして、事務局の経過報告を終わります。細野部会長、よろしくお願ひします。

4. 意見交換(部会長)

(細野部会長)

意見交換に移ります。事務局より説明をお願いします。

(1) 平成24年度の事業計画について【資料9】

(事務局)

【資料9】をご覧ください。平成24年度は基本的には23年度の事業をベースに議論をさせていただければと考えております。平成24年度につきましては、平成23年度に着手した「農林水産省関東農政局交付金事業」や「東北・夢の桜街道プラン」といった大型案件が継続実施される予定で、後ほど、2つの大型案件について、それぞれ意見交換を予定しておりますので、ご意見がおありの方はお願いいたします。ただし、現時点では、来年度の寄付金や予算額が見通せない状況下、予算金額によっては、当然、翌年度以降に繰り延べざるを得ないケースも予想されますので、取り敢えず、今年度並みの予算を前提として、優先度も含めて、ご意見をいただければと存じます。

(細野部会長)

皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。

(藤井様)

「9月18日に御嶽山から御岳溪谷を下っていきましたが、小澤酒造さんのお店の手前にトイレがあり、あまりの汚さに閉口しました。トイレを撤去するか、きれいにしないと、せつかくの景観が台無しです。早急に青梅市など管轄する部門に連絡をされたほうが良いと思います。」という話を前回の部会でお話しましたが、その後管轄

部門に問合せされたのでしょうか。

(事務局)

青梅市の万年橋より上流は、東京都が管轄していますので、窓口は東京都建設局河川部になろうかと思いますが、単に文句を言っても始まらないので、近隣にある旅館とも話をしてから、改めて話を持って行った方が良いのかなと思います。話を持っていってもすぐに動いてくれるとは限りませんので、慎重に話を進めたいと思います。

(小澤運営委員)

そのトイレは、今年の夏の大水で浸水し、使用できなくなっています。しかし、現在の場所は低すぎて、下水が整備されていません。多摩川が増水してもトイレが流れることのない、下水が整備されている高めの場所にトイレを新設することで許可が下りたようですので、時間はかかると思いますが、一年以内にはきれいになると思います。

(細野部会長)

有り難うございました。他に何かございますか。ないようでしたら、次の案件について、事務局から説明をお願いします。

(2) 「食と地域の交流促進対策事業」(農林水産省関東農政局交付金事業) について【資料10】

(事務局)

- ・ 【資料10】をご覧ください。この事業は、8月に交付決定が下り、9月12日に第1回・実行委員会を開催しました。議事メモを添付しておりますので、後ほど目を通していただければと思います。
- ・ そもそも「食と地域の交流促進対策事業」とは何かと申しますと、観光と連携した、都市農山村の交流促進(グリーンツーリズム)を推進していくものです。具体的には、奥多摩の自然・食・文化を活かした多摩川上・中・下流域間の観光交流を促進していくもので、地域の人口が減少していく中、交流人口を増やす観光ビジネスを創出していきたいと考えています。地元の特産品、物産品を開発し、美しい多摩川フォーラムの広域ネットワークを連携して、魅力的な地域づくりができればと思います。観光交流によって、少しでも地域経済が活性化し、持続可能で活力ある地域社会の実現を期待しています。
- ・ 取組内容は、①地元の特産品の研究・開発(奥多摩郷土弁当、モダン・スイーツ)、②地元の昔話や文化資源の掘り起こしと実演、③食と文化の交流イベントの開催、④当フォーラムの広域連携ネットワークを活用した交流人口増加による地域活性

化です。総事業費（案）は、平成23年度が2,122千円、平成24年度が2,498千円です。本日は、本プロジェクトの実行委員長であります、小澤運営委員様にご出席いただいておりますので、一言お願いいたします。

（小澤運営委員）

委員長を引き受けたことに責任を感じております。何故かと申しますと、1点目は、交付金をいただいていることにより縛りがあります。2点目は、数値的な実績を残さなければなりません。責任重大だと思いますが、一生懸命やらせていただきます。皆さんからご意見、あるいはヒントなどがあれば、お聞かせいただきたいと思いますので、よろしく願い申し上げます。

（事務局）

有り難うございました。弁当に関して、澤田アドバイザーに具体的に進めていただいておりますが、経過報告をお願いします。

（澤田アドバイザー）

- ・ 奥多摩が冬になり、キャンプ場等で料理のできる場所が空いています。そこを借りて、弁当の開発をする予定です。
- ・ また、かつば橋道具街へ行って、弁当を下見してこようと思っておりましたが、再利用できる弁当箱は資産となるため、利用不可だと言われました。プラスチック製の使い捨てでなければならないそうです。
- ・ 弁当の中身ですが、大根スライスに柚子を巻いたもの、また、最近奥多摩の料理グループ「たまもの」が受賞した、わさびに東京Xの豚肉を巻く料理も試作が終わっています。柚子の入った麦きりも試作が終わっています。他には、きのこや奥多摩やまめなどもメニューとして考えています。

（事務局）

有り難うございました。澤田アドバイザーがおっしゃったように、国のお金には色々な制約があるため、その都度確認しながら進めていく必要があります。また、奥多摩町の加藤課長は本日ご欠席ですが、この案件に対して期待されていて、特に奥多摩町長さんは、「本来、町をあげてやらなければならないことを、フォーラムにご提案いただいた」とお話され、今後連携して事業を成功させたいとのことでした。

今後の予定ですが、1月11日に第2回実行委員会、2月28日に第1回「食と地域の交流イベント」シンポジウムが開催される予定です。詳細については、第2回実行委員会で方向性を決めたいと思います。

(細野部会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。

(馬淵運営委員)

総事業費(案)は、平成23年度が212万円、平成24年度が249万円で、約450万円となっていますが、年度毎の融通性はあるのですか?例えば、23年度内に出来なかった事業を翌年度に繰り越すことはできるのでしょうか。

(事務局)

212万円というのは、あくまでも資料提出時の予定額でして、実績ベースで交付金が下ります。そのため、領収書等の書類を国に提出する必要がありますし、認められた内容のみにしか交付金が下りません。また、お金が下りるのは、事業が終わった後になります。平成24年度については、来年の春、再度計画を申請し、承認を得ることになっています。

(石黒様)

弁当の食材供給力について、気になることがあります。先ほど「東京X」だとか「やまめ」という話がありましたが、多摩ではなかなか手に入りません。特産品にしたい「鹿肉」も供給が難しいようです。日の出町の方が飼育をしている「東京しゃも」も、東京の卸を通さないと多摩に下りてこないようです。観光側と食材提供側、そして間に立つマーケットを含めて考えていかないと、地域振興には結びつかないと思います。

(澤田アドバイザー様)

「東京X」は青梅市で作られています。福生のハムメーカーさんも販売しています。材料としては向きません。価格が通常の2倍から3倍するのです。我々が調査した結果、奥多摩の名産であるわさびを、豚肉で巻くというアイデアを出していかないと、食材としては使えません。そこまで調査した上でやっているつもりです。奥多摩やまめについては、ご指摘の通り、2ヵ所でしか生産していません。しかし、普通のやまめもいますので、色々な解釈の中で、上手くやっていきたいと思います。

先ほど言い忘れましたが、奥多摩で処理に困っている干し柿についても、食材になるなという感想を持ちました。

(4)「東北・夢の桜街道プラン」について

(事務局)

- 先ほど経過報告でもお話をさせていただきましたが、ここではもう少し詳しくお話をさせていただきたいと思います。

- 10月1日に、美しい多摩川フォーラムと、美しい山形・最上川フォーラムの連携で、東北の震災復興支援事業として「東北・夢の桜街道プラン」を企画し、対外公表しましたところ、大変反響が大きく、協力したいという企業も沢山出てきました。だんだん話が大きくなってまいりましたので、11月中旬に、国土交通省国土政策局に出向き、「これだけ大きくなってきたので、国もバックアップしてほしい。」と申し出ました。すると数日後、国交省より、「11月15日付で『広域連携主体による東北復興支援事業』をホームページで公募した」と連絡があり、「ぜひそれに立候補してほしい」という依頼がありました。ご存知の通り、多摩川フォーラムは任意団体ですので、そこに国費を直接投入することはできません。そのため、「まずは関連する東北の地方公共団体を含む形で、民間企業も加え、広域連携の協議会を作ってほしい。それを作った上で申し込んでほしい。」とのことでした。本事業の公募締め切りは12月6日、契約件数は全国で2件程度、1件当たり上限1,000万円まで、事業期間は平成24年3月20日までとなっています。かなり厳しい関門ではありますが、国交省から立候補の依頼があったくらいなので、少しは脈があるかと思い、「東北・夢の桜街道推進協議会」を立ち上げるべく、奔走いたしました。たった2週間の猶予期間ではありましたが、東北6県、東京都、全日本空輸、JR東日本八王子支社、はとバス、JTB法人東京、全国信用金庫協会、東北地区信用金庫協会、東京都信用金庫協会、美しい山形・最上川フォーラムに加わっていただき、12月1日付で協議会を設立いたしました。
- また、信用金庫の2協会連名で、全国271金庫に応援を呼び掛けたところ、107金庫（12月8日時点）に参加していただけることになりました。応援の具体的内容は、PRポスターに後援クレジットを載せる代わりに、参加金庫の本部および全営業店にポスターを掲示し、お客様に周知していただくというものです。
- 申請が通った場合、今年度中に事業を終了する必要があるため、パネル、チラシ、ホームページなどの広報を中心に、小冊子、札所マップなどの制作も考えています。他にイベントとしては、新宿駅西ロイイベント広場で、2日間に亘り展示を考えています。締切日までに所定の書類を東京都に提出し、結果は早くも12月20日頃に出る予定です。
- 今後、東北案件については全て協議会を基準に活動していきたいと思っております。すなわち、多摩川フォーラムで予算がある程度固まったら、その資金を協議会に拠出し、組織とお金を管理していく予定です。
- また、これは付加的な情報ですが、補助金の使用期間が終わる来年3月には、協議会に、東北運輸局（国土交通省・観光庁の系列）、東北地方整備局（国土交通省、旧建設省の系列）という国の機関も加わる予定です。これも交渉中ではありますが、国土交通省の後援もいただく予定です。
- 本日、とうきゅう環境財団から発行された「財団だより～多摩川」をお配りしまし

たが、この中の特別寄稿として、「東北・夢の桜街道プラン」について書いておりますので、後で目を通していただければと思います。

(細野部会長)

何かご質問・ご意見等はございますか。

(下重部会長)

今年度の実施ということは、桜が咲く4月～5月に向けて広報をしていくということでしょうか。

(事務局)

そうです。この活動について、全国の方に知っていただくため、広報をします。

(下重部会長)

国交省から声がかかったということは、減額になっても、恐らく予算は採れると思いますが、その金額によって人員の動員も必要になってくるかと思っておりますので、事務局はご苦勞が多くて大変だと思っておりますが、頑張ってください。

(細野部会長)

東北6県はどのような関与をするのですか。

(事務局)

地方財政が厳しいので、初年度については少なくともお金は出ず、広報紙や展示等で協力してくれることになっていきます。具体例として、運輸局では、来年1月から15ヵ月間、「東北観光博覧会」を開催する予定ですが、『「東北・夢の桜街道」を取り上げたいので協力してほしい』と言われていきます。また、JR東日本では、岩手県と来年デスティネーションキャンペーンを行う予定ですが、岩手県からも協力してほしいと言われていきます。再来年は、宮城県がデスティネーションキャンペーンを行う予定ですが、こちらにも協力していく予定です。山形県でも、デスティネーションキャンペーンが決まった暁には協力する予定です。

次に、これは気の長い話ですが、日本郵政では、平成25年度～26年度に向けて切手を製作するところですが、山形県知事から、『「東北・夢の桜街道」の切手を作るべき』との発案をいただきました。しかし日本郵政では、自治体からの推薦は受け付けておらず、実施主体のほうから説明を受け、それに関わる役所（観光庁）の推薦があれば受け付けるとのことでした。そのため、12月1日に、山形県の観光交流課長と私の2名で、観光庁の観光地域振興部・観光資源課に出向き、説明をいたしました。

すると、その場で「素晴らしい」とおっしゃり、日本郵政に推薦していただけることになりました。これが当選すると、平成25年度もしくは26年度に切手になるそうです。

(細野部会長)

有り難うございました。盛り沢山の企画が走っているところということですね。他にご質問、ご意見はありませんか。

(箱崎様)

札所の中に、真人公園（秋田県・69番札所）があり、出身者として大変嬉しく思います。ここは過疎化が進んでおりますので、全国から来ていただけるのは嬉しいことです。東北は、被災地以外でも観光客が激減している中、これをきっかけに、多くの人が東北へ出かけてくれると有り難いと思います。

私は教師として、子どもたちに「被災地への修学旅行をどう思うか」を問いかけました。すると、「賛成」が56%、「反対」が12%、「何とも言えない」が32%でした。

ここで質問です。札所の中には、直接の被災地である、三陸の石巻、釜石、宮古等も入っていますが、それらの受け入れ態勢と、多摩川フォーラムとしての、直接の被災地への支援を、現段階でどう考えているのか、お聞かせください。

(事務局)

状況は日々動いており、札所を決定する段階では、被災地では「受け入れが厳しい」状況でした。しかし、ヒアリングしてみると、「来年の春であれば、ある程度の対応は可能」というご意見をいただきました。また、原発の関係で、そもそも立ち入りの出来ない場所があり、その中には桜の名所もいくつかあったのですが、対象から外しました。同じ被災地でも、対岸と山の上では様子が違いますし、そこに泊まるわけではないので、状況を見ながら考えていきたいと思います。

(細野部会長)

時間の都合がありますので、その他として、オブザーバーでご参加いただいている、東急スポーツシステム株式会社の内田さんから発言をお願いいたします。

(東急スポーツシステム株式会社 内田様)

私どもの会社は、多摩川の河川敷で、「東急ゴルフパーク多摩川」というショートコースを運営しています。大きな特徴は、クラブハウスは東京都世田谷区で、コースが川崎市高津区と中原区にまたがっていることです。クラブハウスで受付を済ませた

ら、船でコースに渡っていくというスタイルです。この船は、多摩川で唯一残る渡船です。こういった珍しいコースではありますが、渡船の維持費にコストがかかっています。また、ゴルフ業界自体、利用客が年々減少しています。業界では「2015年問題」と申しておりますが、社用でゴルフをしていた世代が定年を迎え、マーケットが縮小すると懸念されています。さらに2020年度には、多摩川に等々力大橋（仮称）が架かる予定になっており、渡船の必要性がなくなる可能性があります。このショートコースは50年運営を続けており、この渡船を上手く利用できないか、何か良い知恵がありましたらお願いします。

（細野部会長）

どなたか、良いアイデアがありませんでしょうか。

（山崎運営委員）

そのゴルフ場より少し上流の、第三京浜の下の多摩川では、アユが約100万匹タマゴを産んでいます。この間も子どもたちを連れてアユの産卵所観察会に出掛けました。子どもたちは全員胴付き長靴を持っているわけではないので、東京都の子どもたちは川を渡って来ることができません。まさに、「あの船、使えたら便利だよね・・・」と思っていた矢先のご提案です。利用価値はいくらでもあると思います。国交省は、多摩川に新規で船を置くことを認めません。大橋が出来たとしても、渡船の権利だけは絶対に手放さないようにしてください。市民と一緒に活用できる方法を探っていきたいですし、漁協や水辺の移動水族館も協力したいと思います。何かあれば、ご相談ください。

（事務局）

下流の団体に、「多摩川でボートを楽しむ会」がありますが、ボートを置く場所に困っています。そちらの栈橋に、将来的にボートを置かせてもらうことは可能でしょうか。

（内田様）

洪水時には簡単に撤去出来てしまうほどの木造の栈橋なので、ご期待には沿えないと思います。

（下重部会長）

渡船は何人乗りですか。

(内田様)

船頭一人のほかに、ゴルフバッグを持った大人が4人乗れるくらいの小さな船です。

(下重部会長)

その船は1槽しか認められていないのですか？増船は可能ですか？

(山崎運営委員)

京王多摩川駅（東京都調布市）と京王稲田堤駅（川崎市多摩区）の間のダムに、少し前までボート屋がありましたが、現在ほぼ廃業状態で、趣味が高じて、そのボート屋の営業権利を買いました（ビールケース2箱分の値段）。現在、手漕ぎのローボートが10槽あります。川崎の子どもたちと、調布に遊びに行こうというイベントを計画しています。

今のようなお話ですとか、「私たちは多摩川のためにこういうことをやっています」という『大人のシンポジウム』を提案したいと思います。企業であれば、「うちはこのC S R事業をやっている。それは多摩川にとって良いことだ。」など、発表会をやりたいと思っています。子どもたちを対象にした「多摩川子ども環境シンポジウム」はすでに定例事業で開催していますが、子どもたちの手本となるような、大人たちのシンポジウムが出来れば良いなと思っています。このフォーラムには、超一流の団体・企業が沢山加入されていますが、お互いのことは知らなかったりします。みんなが交流を深めるためにも、発表できる機会を設けてほしいと思います。

(細野部会長)

このまま懇親会に入ります。ケーキを食べながらで結構ですので、何か意見のある方はどうぞ。

(藤井様)

「羽田空港跡地利用基本計画への意見募集」の件で、我々中央大学大田区支部と、ボートを楽しむ会の2団体がそれぞれ、将来的な国際レガッタ開催を視野に入れ、「ボートを接岸できる栈橋を作ってほしい」「ボートの格納庫を作ってほしい」と提案しました。我々の意見を含め、寄せられた意見は86件にのぼりましたが、その後話はなかなか進みませんでした。しかし、3月11日に発生した大震災をきっかけに、災害時の海上輸送が注目され、東京湾に栈橋を作ることが決まりました。

正しい意見を地道に主張し続けていけば、いつか実現できるものです。先ほどお話があった渡船に関しても、主張し続ければ、話が展開する時が来るかもしれません。

(細野部会長)

今のご意見に関して、内田様から何かありますか。

(内田様)

私の知らないことを色々と教えていただけたと思いますので、後で名刺交換をさせていただき、今後とも情報交換をさせていただきたいと思います。

(細野部会長)

内田さんの会社単位でも、内田さん個人でも構いませんので、フォーラムの会員になっていただければ良いと思います。他にご意見はありますか。

(下重部会長)

参考までですが、多摩川支流の浅川（日野市）では、夏休み限定で、対岸の市民プールに行くために渡し舟を実施したら、子どもたちに大人気でした。向こう岸に行くだけで、子どもたちは大変喜びます。

(細野部会長)

渡船に関して、たくさんの情報が集まりましたね。他にご意見はありますか。

(澤田アドバイザー)

奥多摩に地底湖があることはご存知でしょうか。先月、その地底湖で、当時上智大学の学生の遺体が、25年ぶりに見つかりました。25年前、学生たちが「冒険部」を作り、奥多摩湖に冒険に出掛け、帰ってきませんでした。関係者がファイバースコープを用いて捜索をしたところ、ミイラ化した状態で見つかりました。上流域には地底湖を含め、意外なものがあることを覚えていてほしいと思います。

(細野部会長)

有り難うございました。他にありますか。

(事務局)

話題が戻ってしまい恐縮ですが、先ほどご説明した「東北・夢の桜街道推進協議会」の構成員の方々に本日ご出席いただいておりますので、現在の取り組み状況についてご説明をお願いいたします。

(全日空 福原様)

航空会社として我々が出来ることは、日本全国のお客様を東北へお連れすることで

す。そのため、いかに全国の人にPRして、東北に足を運んでいただけるかのシステム作りを考えています。

(JTB 横内様)

運営委員会での報告と重複しますが、募集型企画旅行商品「エース」4月-6月号に掲載すべく、現在商品造成を行い、年明けに発売予定です。まず1年目は首都圏発とし、徐々に全国展開をしていく予定です。また、フォーラム事務局がある青梅信用金庫さんからリクエストをいただき、東北・夢の桜街道の札所4ヵ所を巡る団体旅行を企画しています。

(JR東日本 小関様)

「東北・夢の桜街道」で一番やらなければならないのは、知名度を上げることです。JR東日本の東北各支社において、この「東北・夢の桜街道」はまだ知名度が低いのが現状です。たった半年間で、ここまでPRをされてきたフォーラム事務局のパワーには尊敬いたしますが、もう一步浸透が足りないと感じます。我々の商品に「View」というのがあり、そちらの部門にも話をしておりますし、団体旅行の部門にも話をしてはいますが、八王子支社として、まずは知名度を上げる努力をさせていただきたいと思えます。

(事務局)

はとバスの江沢課長からメッセージをお預かりしておりますので、ご紹介します。「多摩川では、龍珠院を大々的に紹介してコースを企画します。東北では、福島・三春滝桜ほか、全県東北桜名所バスコースを企画して、1月中旬から募集を開始します。今年の東北地方の紅葉コースは、不振でした。原発問題が尾を引いています。しかしながら、観光事業者として、広く東北の桜の素晴らしさを発信し、東北・夢の桜街道と連携し、復興応援をし続け、役割を果たしてまいります。」以上です。

(細野部会長)

有り難うございました。皆さんの中で、Facebookに入っている方、または会社や個人でホームページを開設している方は、そこで「東北・夢の桜街道」の試みを紹介し、フォーラムのホームページにリンクさせるなど、知名度アップに貢献していただきたいと思えます。

(山崎副部会長)

最後に一言発言させてください。いまお話いただいた事例を、1,000人の会員に伝えたいです。我々の試みを、この1,000人の会員から全国に発信したいです。

ですから、先ほど話した「大人のシンポジウム」を、ぜひ実現させたいと思います。事務局に頼るのではなく、会員が力を合わせて動けるような仕組みを作りたいと思っています。

(馬淵運営委員)

本日お配りしている、「財団だより～多摩川」ですが、皆さんの中で多摩川に関して寄稿したい方がいらっしゃれば、事務局にご連絡ください。少額ながら謝礼もご用意しています。また、学習副読本「多摩川へ行こう！」も発行していますので、よろしくをお願いします。

5. 部会長総括・閉会（部会長）

(下重部会長)

今日は、大型案件もあり、皆さまから色々な提案や意見交換があり、大変盛り上がりしました。今年最後の部会でしたが、皆さんの話を聞いてつくづく感じるのは、日本には色々な問題があるということです。社会や政治も混とんとしていますが、我々がボトムアップして、市民の側から世の中を変えていくことは素晴らしいことだと思います。そのベースになるのが、子どもたちへの教育だと思います。12月17日に、第4回多摩川子ども環境シンポジウムを開催しますので、ぜひご参加ください。

ひとつだけ気になったことを申し上げます。これから「東北・夢の桜街道」の商品化が進んでいくと思いますが、広報するにあたり、東北に対する心、想いをどう載せていくかが大切だと思います。どうしても物見遊山になりがちなので、お気をつけいただきたいと思います。想いを載せることができれば、広報は自然についてくると思っています。今日は、年末のお忙しい中、有り難うございました。

(細野部会長)

有り難うございました。心を届けるのは大切な事です。「東北に愛に行こう」、「東北に愛に来てください」というのが「東北・夢の桜街道」のキャッチフレーズです。「愛」には心が含まれています。

平成23年ももうじき終わりますが、時節柄とても寒うございますので、お身体にお気をつけください。それでは、平成23年度・第1回三部会合同部会を終了いたします。有り難うございました。

以 上